



令和5年2月9日・2月15日

令和4年度在宅医療・介護連携推進支援事業  
市町村担当者研修会議

# 秦野市の在宅医療・介護連携 のこれまでとこれから

神奈川県秦野市福祉部  
高齢介護課 高齢者支援担当  
技幹 金井ひかり



# 神奈川県 秦野(はだの)市の概要①



水のおいしさが  
自慢

県内で唯一の盆地！  
山坂が多い



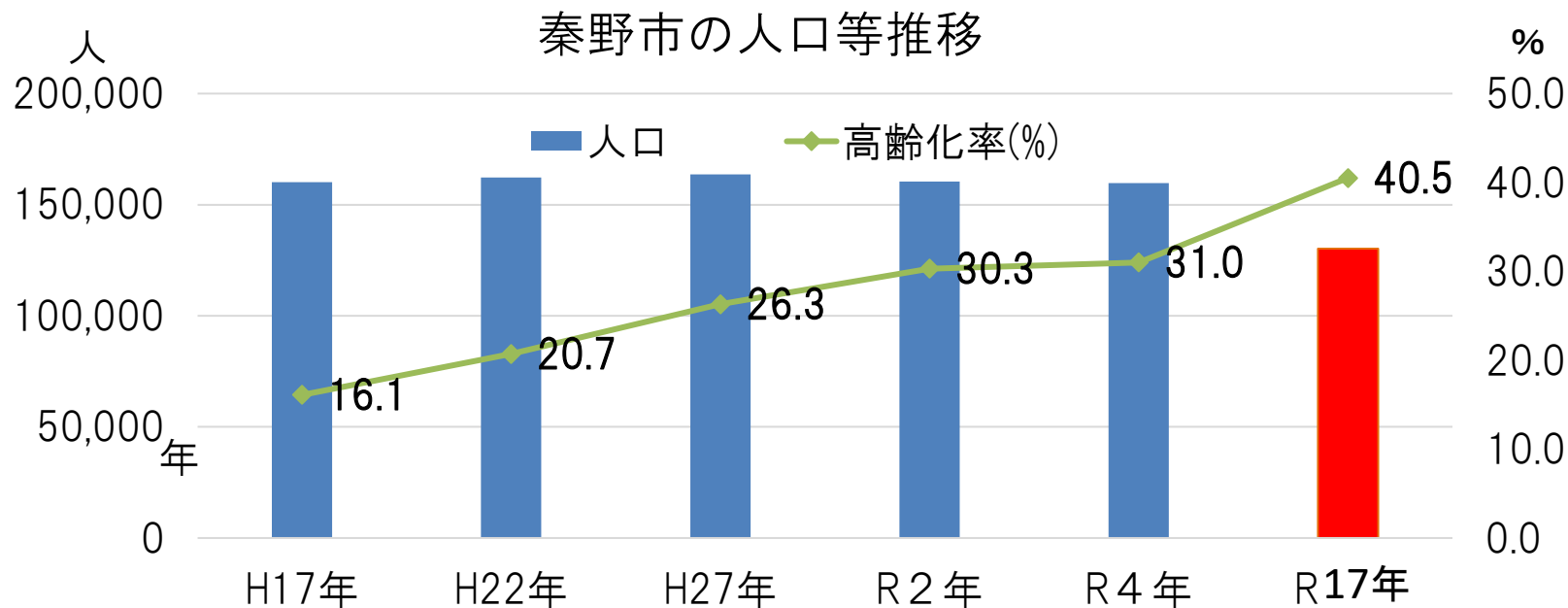
(令和4年10月1日現在)

市の面積	103.76km <sup>2</sup>
総人口(住民基本台帳)	159,688人
世帯数	75,222世帯
高齢者人口(高齢化率)	49,542人(31.0%)
要支援・介護認定率(第1号)	14.94%
日常生活圏域	7圏域

# 神奈川県 秦野(はだの)市の概要②

## ◆人口と高齢化の推移(各年度10月1日現在)

年度	実績値					推計値		
	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R17年
住民基本台帳人口	161,625	161,283	160,475	160,012	159,688	157,782	155,573	130,235
65歳以上	46,928	47,802	48,635	49,245	49,542	49,976	50,454	52,772
前期高齢者	25,814	25,501	25,466	25,445	24,220	22,811	20,347	22,931
後期高齢者	21,114	22,301	23,169	23,801	25,322	27,165	30,107	29,841
高齢化率(%)	29.0	29.6	30.3	30.8	31.0	31.7	32.4	40.5
世帯数(件)	71,324	72,161	70,478	70,996	72,002			



# 神奈川県 秦野(はだの)市の概要③

## ◆要支援・要介護認定者数・認定率の推移(各年度10月1日現在)

区分	年度	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年
第1号被保険者数		45,864	46,751	47,621	48,431	49,046	49,326
要支援・要介護認定者数		6,416	6,624	6,793	7,054	7,326	7,559
第1号被保険者		6,240	6,445	6,616	6,872	7,142	7,367
第2号被保険者		176	179	177	182	184	192
認定率(第1号被保険者) %		13.6	13.8	13.9	14.2	14.6%	14.9

## ◆医療・介護資源(1月1日現在)

項目	施設種別	数	施設種別	数
医療	病院(内精神科専門 4)	8	歯科診療所	84
	診療所	103		
介護	地域包括支援センター	7	認知症対応型共同生活介護	13
	居宅介護支援事業所	36	地域密着型介護老人福祉施設	1
	通所介護	48	小規模多機能型居宅介護	4
	訪問介護	25	看護小規模多機能型居宅介護	1
	訪問看護	15	介護老人福祉施設	6
	通所リハ	8	介護老人保健施設	5
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	介護医療院	1
夜間対応型訪問介護	2	特定施設入居者生活介護 (介護専用型以外)	14	

# 神奈川県 秦野(はだの)市の概要④

## ◆ 自組織のミッション

第8期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より引用

基本理念	健康で歳を重ねることを楽しみながら自己実現を図り、 介護される時期を遅らせましょう
	いつまでも安心して楽しめる、みんなで支え合う社会を作りましょう
政策目標	高齢者とともに取り組む、住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり
	寝たきりにさせない、認知症になっても安心な社会

重点施策	基本施策
地域包括ケアシステムの 深化・推進	地域高齢者支援センターの機能強化
	複合的な支援ニーズに応えるための包括的支援体制整備
	在宅医療・介護連携等の充実
	生活支援と安全・安心の確保
	権利擁護、虐待予防の取組、介護者支援
	災害・感染症に係る支援体制の整備
認知症施策の推進	普及啓発・本人発信支援
	認知症予防・社会参加支援
	医療・介護サービス、地域支援体制の充実
健康と生きがいづくり	健康と生きがいづくり施策の充実
介護予防・自立支援、重度化防止の推進	介護予防施策等の充実
介護保険の健全運営と円滑な実施	介護人材確保施策
	良質かつ安定的なサービス提供体制の構築
	給付適正化事業の推進
	事業者への適切な指定・指導管理体制の強化

# これまでの取組

## 実施内容一部抜粋

項目	実施内容
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	・ 専門職向けの医療・介護関係情報リストの作成・配布 ・ 情報リストのシステムへの取り込み、専門職向けサイトの開設
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・ 協議会の開催 ・ 作業部会の開催
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	高齢者施設における看取りに関する調査 在宅サマリー活用についての調査 連携加算の取得情報の経年傾向調査
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	在宅サマリ－の作成及び修正
(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	・ 医師会、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、病院、薬局、在宅歯科医療地域連携室で、医療・介護サービス利用が困難な場合の相談や対応
(カ) 医療介護関係者の研修	医療介護関係者向け多職種研修会の開催
(キ) 地域住民への普及啓発	地域住民向け研修会の開催 秦野市エンディングノートの作成及び配布

# 人事異動そしてコロナ禍



目指すべき姿って？

何がどうなれば進んでいるの？

前任者からの引継ぎが  
ほぼない。

これまでの活動が一部の専門  
職にしか伝わってない？

庁内連携が進まない

職場のオンライン開催の環境が整  
わない。



今度はICTを活用する環境は進ん  
だけど、うまく活用できない。

会議や調査やら、やらなく  
ちやいけなけれど、自分の理  
解が追い付かない

関係情報リストを作ったのに、あまり使  
われてない？

コロナ禍、介護・医療の専門職も  
みんな忙しくて、何をどうしたら役  
立てる？何がどう必要？

講演会企画したけど、できる？で  
きない？どう判断したらいいの？

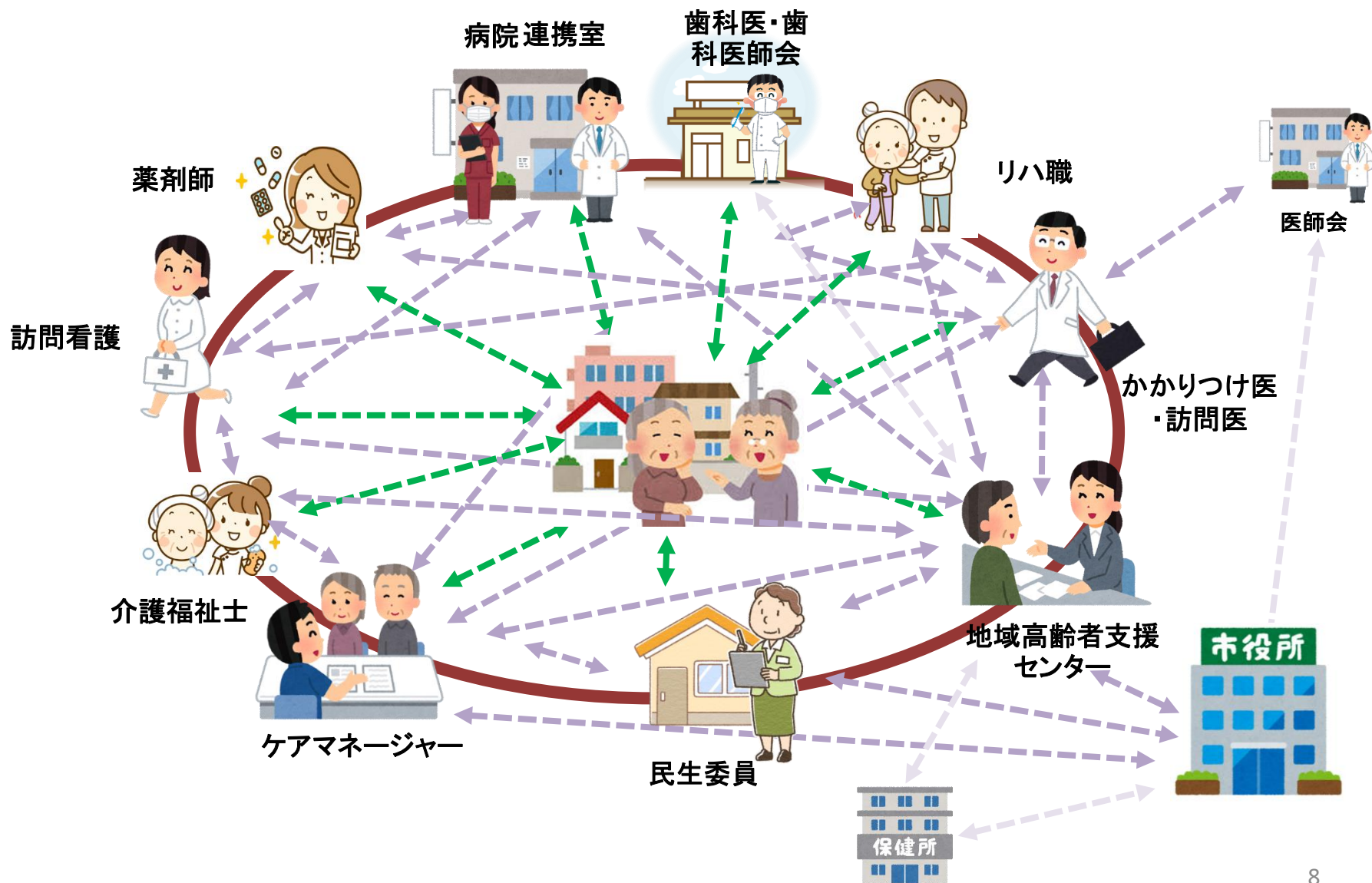
把握すべきデータが多すぎ  
て、まとめきれない。どうやっ  
て示せばいいの？

手引きをいくら読んでも難しい。

あれもこれもで、優先順  
位がわからない

協議会や作業部会を活発な意見交換の  
場としたい。でもどうしたら。。。。

# これまでの在宅医療・介護連携推進の相談チャンネル





# 秦野市在宅医療・介護連携相談支援室の委託(2022.4～)

## 医療・介護従事者の皆様

### 秦野市在宅医療・介護連携相談支援室のご案内

秦野伊勢原医師会では秦野市の委託を受けて、地域の医療・介護の連携を推進するための在宅医療サービスのコーディネート拠点として、「在宅医療・介護連携相談支援室」を設置することになりました。

「在宅医療・介護連携相談支援室」は、診療所・病院・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション・地域高齢者支援センター・居宅事業所・介護事業者・市役所等在宅医療と介護を結び付けるコーディネーターとして、地域の医療・介護サービス提供者の連携をサポートします。

秦野市民の「病气や介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたい」その思いをかなえるため、医療・介護連携機関への支援(調整・情報提供)を行い、また他市にまたがる困りごとにも関係機関のネットワークで対応いたします。

### 業務内容

- \* 医療・介護に関する相談支援
- \* 医療・介護に関する情報収集
- \* 医療・介護関係者間の情報共有や研修会
- \* 在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

まずは、お気軽にご相談ください。

### 秦野市在宅医療・介護連携相談支援室

(在宅医療・介護関係者向け相談窓口)

場所：秦野伊勢原医師会在宅ケアセンター内(秦野市曾屋11)  
相談日時：月曜日～金曜日(9時～17時) 祝日年末年始を除く  
相談先：TEL0463-82-2560 FAX0463-82-7877  
電子メール：[h-renkei@abox3.so-net.ne.jp](mailto:h-renkei@abox3.so-net.ne.jp)  
相談担当：在宅医療・介護連携推進コーディネーター(看護師)



## 委託先

\* 秦野伊勢原医師会

## 委託内容

- \* 医療・介護に関する相談支援
- \* 医療・介護に関する情報収集
- \* 医療・介護関係者間の情報共有や研修会
- \* 在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

## 人員

\* 看護師 1名

# オンライン多職種研修会の開催(2022.9～)

## 目的

一つの事例を通して、在宅療養をするための多職種協働による知識の向上と意見交換を行うことで、市民のための効果的な多職種連携を体験する。

日頃参加しているスタッフがどのように考え感じているのか立場を変えて体験する。

## 実施方法

在宅医療・介護連携推進協議会作業部会Bの委員を中心にファシリを各グループに1名配置。

### (1) 事例の設定【役割シナリオ事前送付】

脳梗塞後遺症の夫と妻の高齢者二人暮らし。何度か誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している。入退院を繰り返すたびに介護度が上がり食事摂取量も減少。ADLの低下患者としているその妻・子供達が抱える今後の思いなどを紹介。

### (2) グループワーク

- 普段と違う職業を選び、役になりきる準備(3分間)
- 模擬カンファレンス(20分間)
- カンファレンスの振り返り、違う職種を体験してどう感じたか(10分間)、なぜ多職種カンファレンスが難しいのか考える。
- 各グループでの振り返り

令和4年度 秦野市在宅医療介護連携推進事業(秦野市委託事業)

## 多職種連携 研修会

### 脳梗塞後嚥下障害のある方の退院支援を考える

3年ぶりの多職種研修会のご案内です。

模擬事例を通じて、他職種の役割や立場を理解し、自分では、気づかなかった課題や問題の解決、或いは自己を再発見することを目的として、普段の自分とは異なる役割で模擬カンファレンスを実施します。

それぞれの役割を理解して、連携の質を高めよう

#### 1 実施日時・テーマ 時間:いずれも、19時～20時半

回	日程	テーマ	会場
1回目	9月29日 木曜日	「病院から在宅へ(退院支援)」 退院前カンファレンスの開催準備と模擬会議	市役所 教育庁舎
2回目	11月16日 水曜日	「在宅療養中(生活支援)」 サービス担当者会議の開催準備と模擬会議	3階大会議室 又は Zoomによる 参加
3回目	1月18日 水曜日	「看取りの時期(終末期の支援)」 摂食嚥下ができなくなった患者の看取り期の支援を考える。	Zoomによる 参加

#### 2 対象者

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・訪問看護師・ケアマネージャー・地域高齢者支援センター職員・リハビリ職・栄養士・介護士・ヘルパー・福祉関係者・行政等

#### 3 各回参加者数

各回40名程度(1グループ6～8名(ファシリテーター含む)でグループワーク)

#### 4 募集方法

各職種の団体及び病院から各回1～4名程度のご参加をお願いします。参加者については各回変更しても構いません。

#### 5 資料、Zoom ID・パスコードについて

当日の資料とZoom入室用のミーティングIDとパスコードは、研修1週間前までに参加者名簿に記載されたメール宛にお送りします。

【事務局】秦野市在宅医療・介護連携相談支援室(秦野伊勢原医師会内)

TEL : 0463-82-2560 FAX : 0463-82-7877

メール : h-renkei@abox3.so-net.ne.jp

# オンライン多職種研修会の開催(2022.9~)

開催までの役割	担当
・実施案の作成	医
・実施案の検討・修正	医・作・市
・チラシ作成	市
・各団体への募集	医
・名簿作成・グループ分け	医・市
・登場人物シナリオ案作成	医
・シナリオ検討・修正	医・作・市
・オンライン開催の環境の提供	市
・事前配付資料作成	医・市
・当日のpc操作	市
電子申請アンケート作成・結果まとめ	市



秦野伊勢原医師会 秦野市在宅医療・介護連携相談支援室作成  
令和4年度秦野市在宅医療介護連携推進事業 多職種研修会(レジメ)

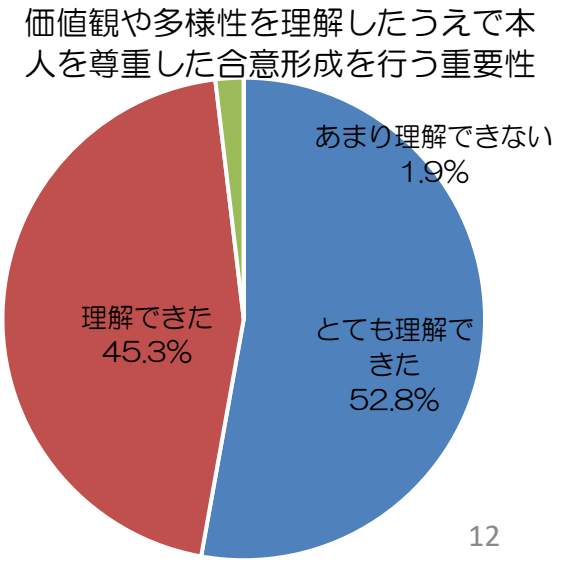
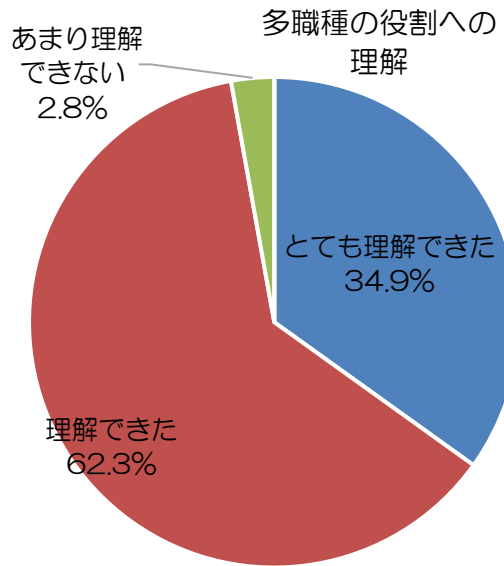
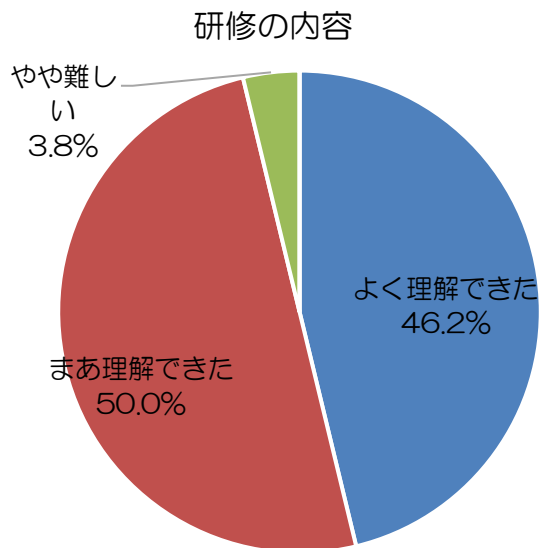
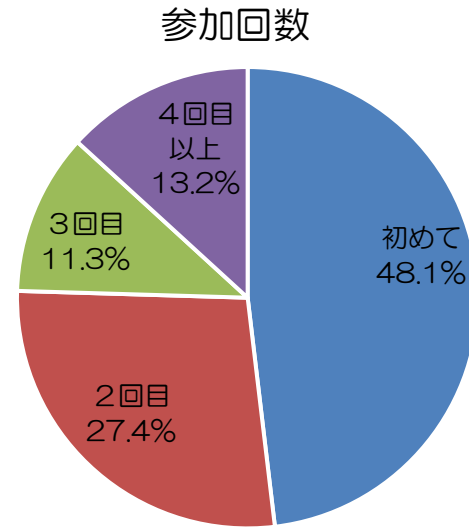
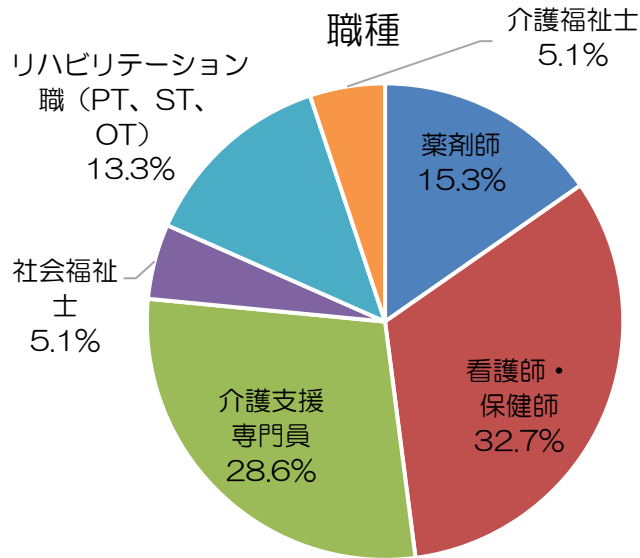
(1) 目的	一つの事例を通して、在宅療養をするための多職種連携による知識の向上・意見交換をする。 疑似症例を通して医療・介護関係者がお互いの職種についての専門性や役割・考え方を 知ること、多職種連携の重要性を学び実践に繋げる。																																														
(2) 日時と会場及び開催方法	日時：令和4年9月29日(木)午後7時から 会場：オンライン開催(Zoomのブレイクアウトルームを利用した研修会)																																														
(3) 事前申込制	参加者については、事前にグループを調整																																														
(4) 事例提供	疑似症例																																														
(5) グループワーク	<p>ア 対象者</p> <table border="0"> <tr> <td>【医療機関】</td> <td>【在宅支援者】</td> </tr> <tr> <td>・独立行政法人国立病院機構 神奈川病院</td> <td>・秦野市介護支援専門員協会</td> </tr> <tr> <td>・医療法人杏林会 八木病院</td> <td>・秦野市訪問看護ステーション連絡協議会</td> </tr> <tr> <td>・秦野赤十字病院</td> <td>・地域高齢者支援センター</td> </tr> <tr> <td>・医療法人社団三喜 鶴巻温泉病院</td> <td>・秦野市ホームヘルパー協会</td> </tr> <tr> <td>・一般社団法人 秦野伊勢原医師会</td> <td>・特定非営利活動法人 秦野市リハビリテーシ ョン連絡会</td> </tr> <tr> <td>・一般社団法人 秦野伊勢原歯科医師会</td> <td>・行政</td> </tr> <tr> <td>・特定非営利法人 秦野市薬剤師会</td> <td>・平塚保健福祉事務所秦野市センター</td> </tr> </table> <p>イ グループ編成 1グループ6~8名程度で。(4~5グループ程度)</p> <p>ウ テーマ 脳梗塞後嚥下障害のある方の退院支援を考える</p> <p>エ タイムスケジュール</p> <p style="text-align: right;">総合司会：秦野市在宅医療・介護連携相談支援室 菊池相談員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時刻</th> <th>分数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19:00~19:02</td> <td>2分</td> <td>挨拶</td> </tr> <tr> <td>19:02~19:07</td> <td>5分</td> <td>地域包括ケアシステムについて秦野伊勢原医師会会長 関野高弘</td> </tr> <tr> <td>19:07~19:10</td> <td>3分</td> <td>GW説明・進め方について(司会者・書記・発表者の決定)</td> </tr> <tr> <td>19:10~19:15</td> <td>5分</td> <td>各グループに分かれて自己紹介(アイスブレイク)</td> </tr> <tr> <td>19:15~19:30</td> <td>15分</td> <td>GW「退院前カンファレンスの開催準備」 課題1)参加者を誰にするのが良いか 課題2)どのようなことに配慮するか</td> </tr> <tr> <td>19:30~19:33</td> <td>3分</td> <td>各自役づくり</td> </tr> <tr> <td>19:33~20:03</td> <td>30分</td> <td>模擬退院前カンファレンス経験</td> </tr> <tr> <td>20:03~20:27</td> <td>25分</td> <td>振り返り</td> </tr> <tr> <td>20:27~20:30</td> <td>3分</td> <td>まとめ・講評 丸山クリニック院長 丸山博志</td> </tr> </tbody> </table>	【医療機関】	【在宅支援者】	・独立行政法人国立病院機構 神奈川病院	・秦野市介護支援専門員協会	・医療法人杏林会 八木病院	・秦野市訪問看護ステーション連絡協議会	・秦野赤十字病院	・地域高齢者支援センター	・医療法人社団三喜 鶴巻温泉病院	・秦野市ホームヘルパー協会	・一般社団法人 秦野伊勢原医師会	・特定非営利活動法人 秦野市リハビリテーシ ョン連絡会	・一般社団法人 秦野伊勢原歯科医師会	・行政	・特定非営利法人 秦野市薬剤師会	・平塚保健福祉事務所秦野市センター	時刻	分数	内容	19:00~19:02	2分	挨拶	19:02~19:07	5分	地域包括ケアシステムについて秦野伊勢原医師会会長 関野高弘	19:07~19:10	3分	GW説明・進め方について(司会者・書記・発表者の決定)	19:10~19:15	5分	各グループに分かれて自己紹介(アイスブレイク)	19:15~19:30	15分	GW「退院前カンファレンスの開催準備」 課題1)参加者を誰にするのが良いか 課題2)どのようなことに配慮するか	19:30~19:33	3分	各自役づくり	19:33~20:03	30分	模擬退院前カンファレンス経験	20:03~20:27	25分	振り返り	20:27~20:30	3分	まとめ・講評 丸山クリニック院長 丸山博志
【医療機関】	【在宅支援者】																																														
・独立行政法人国立病院機構 神奈川病院	・秦野市介護支援専門員協会																																														
・医療法人杏林会 八木病院	・秦野市訪問看護ステーション連絡協議会																																														
・秦野赤十字病院	・地域高齢者支援センター																																														
・医療法人社団三喜 鶴巻温泉病院	・秦野市ホームヘルパー協会																																														
・一般社団法人 秦野伊勢原医師会	・特定非営利活動法人 秦野市リハビリテーシ ョン連絡会																																														
・一般社団法人 秦野伊勢原歯科医師会	・行政																																														
・特定非営利法人 秦野市薬剤師会	・平塚保健福祉事務所秦野市センター																																														
時刻	分数	内容																																													
19:00~19:02	2分	挨拶																																													
19:02~19:07	5分	地域包括ケアシステムについて秦野伊勢原医師会会長 関野高弘																																													
19:07~19:10	3分	GW説明・進め方について(司会者・書記・発表者の決定)																																													
19:10~19:15	5分	各グループに分かれて自己紹介(アイスブレイク)																																													
19:15~19:30	15分	GW「退院前カンファレンスの開催準備」 課題1)参加者を誰にするのが良いか 課題2)どのようなことに配慮するか																																													
19:30~19:33	3分	各自役づくり																																													
19:33~20:03	30分	模擬退院前カンファレンス経験																																													
20:03~20:27	25分	振り返り																																													
20:27~20:30	3分	まとめ・講評 丸山クリニック院長 丸山博志																																													

\* 配布資料：研修会レジメ・参加者名簿・事例

\* アンケートについては、各自画面入力とする(研修終了後1週間以内に回答)

# オンライン多職種研修会アンケート結果

全3回 参加者合計 136名



# オンライン多職種研修会の感想

オンラインでしたが、近くに感じることができて非常に楽しかった

接続のトラブルが何度かありましたが、ZOOMの利用により効率的に研修を進めることが出来て良かった

相互理解が深まるのではないかと感じた

ご本人の意思だけでなく、それを支えるご家族の思いや、価値観を尊重し、在宅療養する環境を整える必要があると学べた

皆さんが役になり切る事でそれぞれの立場から、いつもと違った視点で体験でき、気付きの意見が多く聞けたのでとても良い企画だと感じた

地域包括ケアシステムは、在宅生活を支える専門職が、私達の地域で「実現可能」であるケースを数多く目に見えるようにしていくことで、少しずつ地域で理解者を増やしていき、うまく機能させることができるのではないかと感じた

コロナ禍でカンファレンスを行う機会が減少しているので、今回の研修は有意義だった

# 市民参加型公開講座の開催

秦野市委託事業 秦野伊勢原医師会主催  
在宅医療・介護連携 市民参加型公開講座

## 「最期まで自分らしく暮らし続ける」

誰もが望んでいる穏やかな生活を送りながら、自分らしく『最期まで生ききる』ためにどこで誰とどんなケアを望むのか一緒に考えてみましょう。

多くの看取り現場に寄り添いながら撮り続けてた映画『人生をしまう時間』の監督 下村幸子氏を迎えて、市民の皆さん・地域の医療・介護の関係者と「自分らしい生き方・暮らし」について考える機会となります。  
ご家族・ご友人とお誘いあわせの上、是非ご参加ください。



入場  
無料

日時: 令和4年12月11日(日)14:00~16:00

会場: 秦野市保健福祉センター  
3階多目的ホール

定員: 150名



開場 13:30

第1部 14:05~14:45 講話

下村 幸子氏 (NHKエンタープライズシニア・プロデューサー)

第2部 14:45~15:45 シンポジウム

～語り継ぐ命と物語～

本人の意思決定により在宅療養を選択された方のご家族を迎え「最期まで自分らしく生きる」ことを支えた在宅医療と介護の現場を知り、自身や家族にとっての生活について考え意見交換をします。

<シンポジスト>

○ご家族と医療・介護関係者

○下村 幸子氏 (NHKエンタープライズシニア・プロデューサー)

申込  
方法

申込URL: **電子申請または電話**  
[https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142115-u/offer/offerList\\_detail.action?tempString=ShiminkoukaiKouza](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142115-u/offer/offerList_detail.action?tempString=ShiminkoukaiKouza)

一般社団法人秦野伊勢原医師会  
在宅医療連携相談窓口  
☎0463-82-2560

申込QRコード



秦野市高齢介護課  
☎0463-82-7394

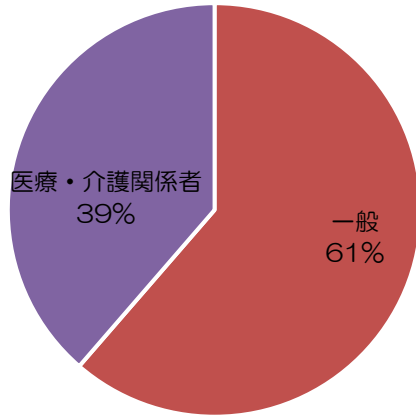
### 開催までの役割

### 担当

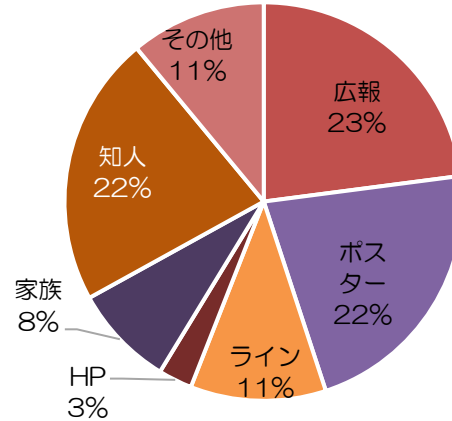
・企画、登壇者調整、内容、進行要領作成	医・登壇者・市
・会場予約、・広報掲載	市
・チラシ作成	医・市
・参加者受付、舞台上のレイアウト調整	医・市
・アンケート作成・集計	市
・登壇者への支払い	市

# 市民公開講座アンケート結果

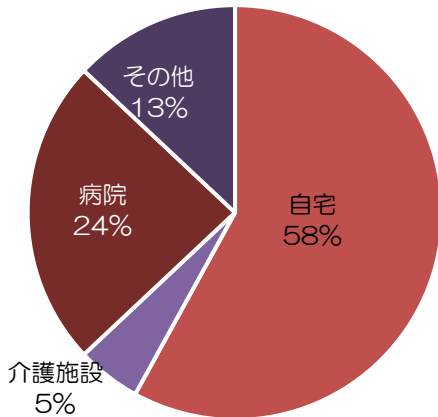
職業



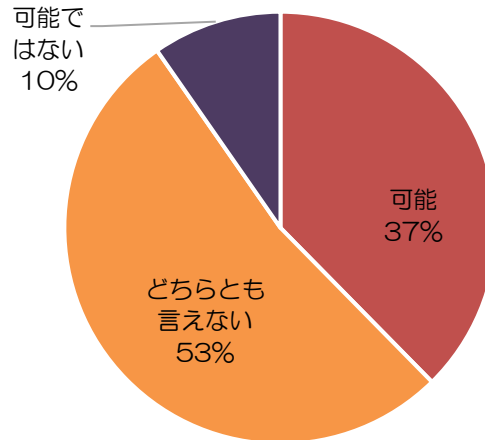
知ったきっかけ



最期をどこで迎えたいか



希望する場所で最期を迎えること



## ご意見・感想

在宅医療はいろいろな方に迷惑を掛けるので、一人暮らしの私は最後は病院でと考える。

元気なうちから死に付いて話し合える自分でいたいと思った。

よい事例の話を聞いて良かったです。GHで働いていますが、看取りに対し、本人の気持ちに寄り添いたいです。

家で最期を迎えたいけれど、子供の負担を考えると家では言えない。昔は一般的だった在宅での最後が今ではとても難しい。

本人、家族の思いを大切に出来る様に、今後の業務に生かしていきたいです。

私はナースを病院でしています。在宅へつなげる助けをしている立場になります。今回私自身もACPの勉強をしている途中で、大変勉強になりました。

## ご意見・感想

在宅医療の現場から、実際に在宅医からのお話を伺いたい

在宅へ依頼する実際、介護保険についての実際、申し込み方など市民は知りたいと思う。

介護保険とはどうものなのかという知識を他の方にも知ってほしい

# 相談支援室との役割分担

## 相談内容を積み重ねて、秦野市ならではのNEEDの把握

これまでは様々な機関同士のつながりで、地域における医療と介護両方に問題を抱えるケースの対応をしてきか、相談窓口ができたことで、地域の専門職が何に困って、何を必要と感じているかを把握しやすくなる。

また、医師会に相談支援室が設置できたことで、医療の状況を行政も理解することにつながり、また、医師会側も地域の専門職の困り感を直接知ることができる。

## 対応できない部分を補う

オンライン環境や講演会場の会場予約、電子申請によるアンケート調査など、効率的に進められる部分については、行政で対応。

医師会に委託した強みを生かしつつ、介護分野との連携強化を手助けする。

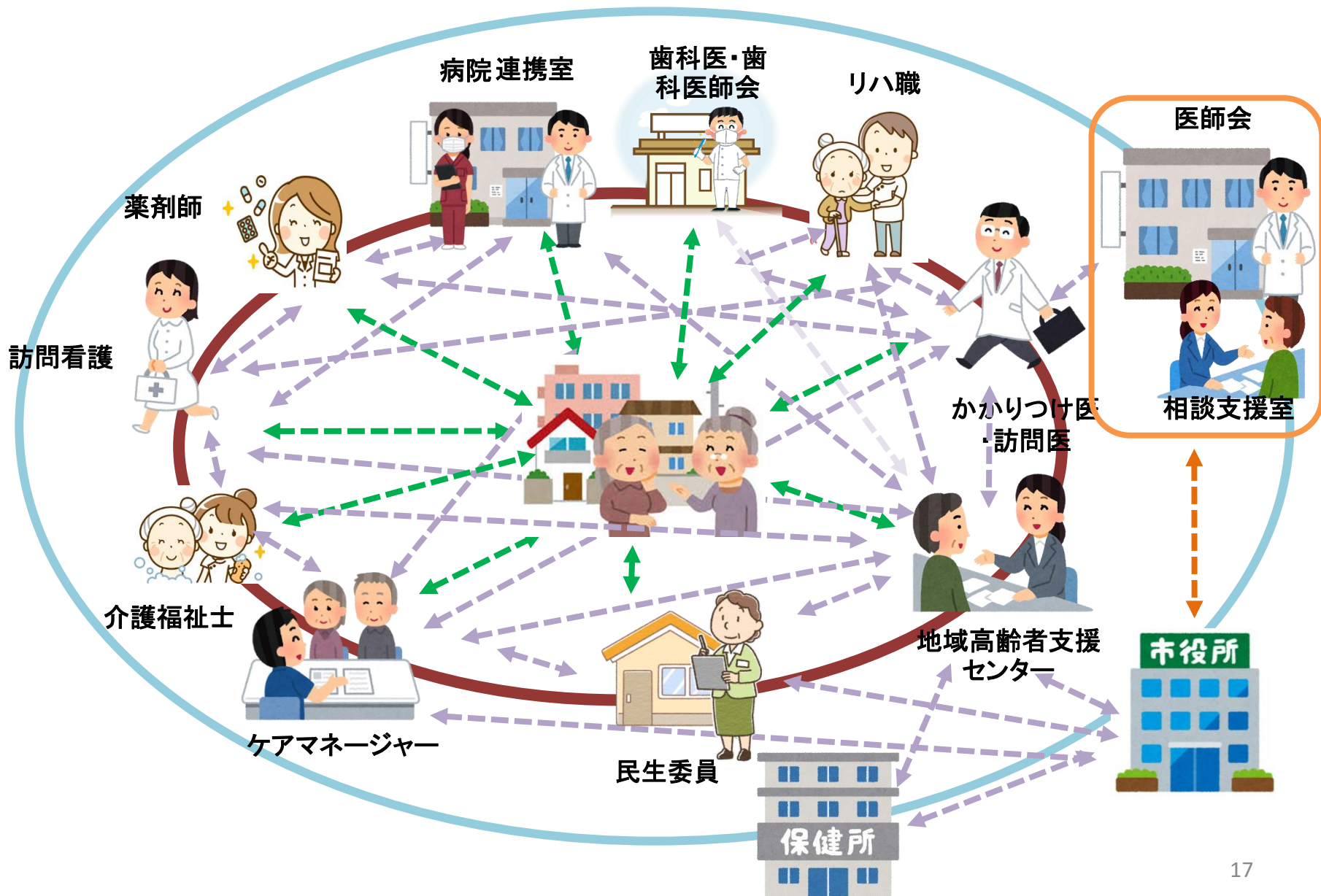


## こまめに相談できる体制づくり

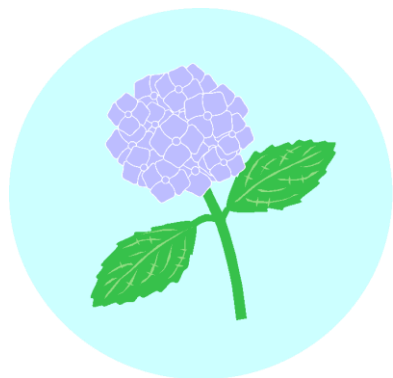
月に2~3回程度の打ち合わせを随時行い、委託事業の進め方などを定期的を確認しながら一緒に今後の進め方を確認できる専門職がいると、行政側の担当者が異動しても継続的に推進できる。



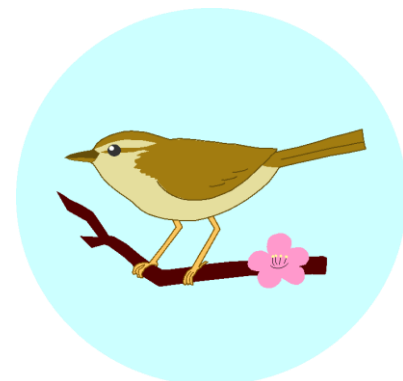
# これからの在宅医療・介護連携推進の相談チャンネル



# 御清聴ありがとうございました



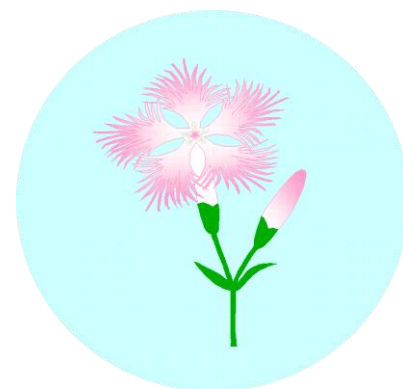
市の花:あじさい



市の鳥:うぐいす



市の木:こぶし



市の花:なでしこ